

臨床医学

麻醉科学講座

[付属病院麻醉科]

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Hongo T, Kitamura A, Yokozuka M, Kim C, Sakamoto A: An epidural initial dose is unnecessary in combined spinal epidural anesthesia for caesarean section. *J Nippon Med Sch* 2006; 73(2):70-74.
- 2) Nakanishi K, Takeda S1), Sakamoto A, Kitamura A(1) 付属病院集中治療室): Effects of ulinastatin treatment on the cardiopulmonary bypass-induced hemodynamic instability and pulmonary dysfunction. *Critical Care Medicine* 2006; 34(5):1351-1357.
- 3) Suzuki M1), Haraguchi S2), Sugimoto K1), Kikutani T1), Shimada Y1), Sakamoto A(1) 武蔵小杉病院 麻醉科, 2) 同外科): Low-dose intravenous ketamine potentiates epidural analgesia after thoracotomy. *Anesthesiology* 2006; 105(1):111-119.
- 4) Takahashi H1), Suzuki H1), Shiwa T1), Sakamoto A(1) 付属病院眼科): Altered development of free radical development by ophthalmicviscosurgical devices in pharmacoeulsification. *J Cataract Refract Surg* 2006; 32(9):1545-1548.
- 5) Goto Y, Terajima K, Tsueshita T, Miyashita M1), Horinouchi H2), Sakai H3), Tsuchida E3), Sakamoto A(1) 日本医科大学外科学第 1, 2) 慶応義塾大学外科, 3) 早稲田大学理工学部): Fluid resuscitation with hemoglobin-vesicle solution does not increase hypoxia or inflammatory responses in moderate hemorrhagic shock.. *Biomedical Research* 2006; 27(6):283-288.
- 6) Kashimoto S1), Seki M2), Ishiguro T2), Yoshioka Y3), Nagata O4), Nishimura K5), Kikuchi T5), Yamada T6), Iwase M4), Omi A7), Honda O8), Sakamoto A, Ogihara Y7), Fujimoto K9), Kato J10)(1) 山梨大学, 2) 癌研病院, 3) 都立豊島病院, 4) 東京女子医科大学, 5) 順天堂大学, 6) 慶應大学, 7) 東京医科大学, 8) 国立がんセンター, 9) 横浜市立大学, 10) 日本大学): Nicorandil decreases cardiac events during and after noncardiac surgery. *Journal of Clinical Anesthesia* 2007; 19(1):44-48.
- 7) Mii S, Kim C, Matsui H1), Oharazawa H1), Shiwa T1), Takahashi H1), Sakamoto A(1) 付属病院眼科): Increases in central retinal artery blood flow in humans following carotid artery and stellate ganglion irradiation with 0.6 to 1.6 microm irradiation. *J Nippon Med Sch* 2007; 74(1):23-29.
- 8) 竹田晋浩 1), 赤田信二 1), 寺嶋克幸, 鈴木規仁, 青戸泰二 1), 山本保博 2), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室, 2) 救急医学): 非侵襲的陽圧換気によるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌検出頻度減少の効果. *日本集中治療医学会雑誌* 2007; 14(1):91-92.

(2) 症例報告:

- 1) Terajima K, Takeda S1), Taniyai N2), Tanaka K1), Oda Y3), Asada A3), Sakamoto A(1) 日本医科大学付属病院集中治療室, 2) 同外科学第 1, 3) 大阪市立大学麻醉科): Repeated dexmedetomidine infusions, a postoperative living-donor liver transplantation patient. *Journal of Anesthesia* 2006; 20(3):234-236.
- 2) Terajima K, Suzuki R1), Sugamura R1), Sakamoto A(1) 国立福島医療センター婦人科): Non-invasive positive pressure ventilation and subarachnoidal blockade for Caesarean section in a parturient with pulmonary oedema. *Acta Anaesthesiol Scand* 2006; 50(10):1307-1308.

- 3) Yamamoto T1), Terajima K, Kato K1), Iwasaki Y1), Miyagi Y1), Sato N1), Takeda S1), Tanaka K1), Takano T2)(1) 付属病院集中治療室, 2) 内科学第 1): Transient leukocytopenia associated with a steep surge of pro-inflammatory cytokines in a patient with severe cardiogenic pulmonary edema. J Internal Medicine 2006; 45(20):1153-1155.
- 4) 吉田結富子, 寺嶋克幸, 伊藤公亮, 山梨義高, 横塚基, 竹森健, 三井誠司, 佐藤千代, 中西一浩, 坂本篤裕: 麻酔導入時の経食道心エコーによって術式が変更された外傷性大動脈損傷の 1 症例. 循環制御 2006; 27(4):362-365.
- 5) 四維東州, 結城禎一 1)(1) 三井記念病院麻酔科): 術前検査で困った症例(その 2) たまたま見つかった発作性心房細動: 全身に影響の少ない麻酔法で前立腺生検を施行し, その後に内科的管理. LiSA 2006; 13(12):1140-1143.
- 6) 古市昌之, 佐藤千代, 川口宏志, 岸川洋昭, 金徹, 坂本篤裕: 頸椎前方固定術後の骨棘による気管膜様部突出で生じた挿管困難の 1 例. 日本臨床麻酔学会雑誌 2007; 27(1):61-65.

(3) 綜説:

- 1) 竹田晋浩: BiPAP ; 人工呼吸の換気モード. 呼吸器ケア 2006; 5(5):79-84.
- 2) 坂本篤裕: 麻酔と術後長期予後. 日本外科系連合学会誌 2006; 31(2):260-261.
- 3) 竹田晋浩: NPPV 療法中の合併症とその対策 ; 今日の NPPV 療法. 呼吸器科 2006; 10(6):509-512.
- 4) 坂本篤裕: 周術期循環管理とエビデンス. 循環制御 2006; 27(2):93-94.
- 5) 坂本篤裕: 肥満妊婦とやせ妊婦・麻酔時の注意点. 産婦人科の実際 2006; 55(7):1079-1085.
- 6) 竹田晋浩: NPPV を行う人工呼吸器および回路 : 人工呼吸関連の機器 4. 呼吸器ケア 2006(夏季増刊号):58-65.
- 7) 寺嶋克幸, 坂本篤裕: 呼吸器疾患の新治療:デクスメドミジン. 呼吸 2006; 25(9):882-889.
- 8) 寺嶋克幸, 杖下隆哉, 坂本篤裕: 周術期 / 救急領域の赤血球輸血と人工酸素運搬体の展望 : Hemoglobin Vesicles の可能性. 日本血液代替物学会誌「人工血液」 2006; 14(3):71-78.
- 9) 坂本篤裕: 麻酔管理と長期予後. 麻酔 2006; 55(9):1077-1077.
- 10) 中西一浩, 竹田晋浩 1), 本郷卓 1), 金徹, 寺嶋克幸, 河原裕泰, 岸川洋昭, 鈴木規仁, 杖下隆哉, 赤田信二 1), 幸田修典, 三井誠司, 小林克也, 佐藤千代, 竹森健 (1) 付属病院集中治療室): 麻酔科領域における超音波エコーの活用 : 神経ブロックと血管穿刺. 臨床麻酔 2006; 30(9):1877-1882.
- 11) 竹田晋浩: NPPV の実際 ; 効果の評価 ; 非侵襲的人工呼吸 Q&A. 救急・集中治療 2006; 18(10):12-14.
- 12) 竹田晋浩: 急性期の NPPV ; 急性肺水腫 非侵襲的人工呼吸 Q&A. 救急・集中治療 2006; 18(10):50-55.
- 13) 竹田晋浩: どんな患者さんにどの機種を使うのか ; 必ずできる, Q&A で理解する NPPV の導入と患者ケア. 呼吸器ケア 2006; 4(11):1154-1161.
- 14) 赤田信二, 竹田晋浩: 人工呼吸法. 呼吸器ケアエッセンス 2006:52-63.
- 15) 竹田晋浩: 急性心原性肺水腫に対する NPPV 療法. Therapeutic research 2007; 28(1):60-66.
- 16) 赤田信二, 坂本篤裕: ER における鎮痛, 鎮静法の必要性和方法. 救急医学 2007; 31(1):27-31.
- 17) 竹田晋浩: Dexmedetomidine , 呼吸管理への応用. Anesthesia 21 century 2007; 9(1):11-16.
- 18) 金徹: こんな時どうする? 患者急変対応 Q&A:不整脈・心停止. オペナーシング 2007; 22(3):35-37.
- 19) 金徹: こんな時どうする? 患者急変対応 Q&A:電解質異常. オペナーシング 2007; 22(3):38-40.
- 20) 金徹: こんな時どうする? 患者急変対応 Q&A:異常高血圧. オペナーシング 2007; 22(3):41-42.
- 21) 金徹: こんな時どうする? 患者急変対応 Q&A:異常低血圧. オペナーシング 2007; 22(3):43-45.
- 22) 坂本篤裕: ショックの患者管理に必要な基本的モニターは何ですか?. ナーシングケア Q&A : モニタリング 2007; 15:93-95.

- 23) 坂本篤裕: 中枢温と末梢温の温度較差は何を意味するのですか?. ナーシングケア Q&A : モニタリング 2007; 15:132-134.
- 24) 寺嶋克幸: 尿量をモニタリングすると何がわかるのですか?. ナーシングケア Q&A : モニタリング 2007; 15:135-137.
- 25) 寺嶋克幸: 肺切除手術の術中・術後にはどんなモニターが必要ですか?. ナーシングケア Q&A : モニタリング 2007; 15:152-154.
- 26) 坂本篤裕: 消化管粘膜 pH (pHi) モニターで何がわかるのですか?. ナーシングケア Q&A : モニタリング 2007; 15:170-171.
- 27) 金徹: バイタルサインはこう読む!. 看護技術 2007; 53(3):11-16.
- 28) 寺嶋克幸: 小児, 高齢者, 脳血管障害患者のバイタルサイン測定とその読み方. 看護技術 2007; 53(3):17-21.
- 29) 寺嶋克幸, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 麻酔科医としての 2 アゴニストを知る: 2 アゴニストの臨床的展開 ICU における展開. 日本臨床麻酔学会誌 2007; 27(2):117-124.

著 書

- 1) 竹田晋浩: [その他] 急性心原性肺水腫. NPPV (非侵襲的陽圧換気療法) ガイドライン (日本呼吸器学会), 2006; pp 49-52, 日本呼吸器学会.
- 2) 竹田晋浩: [その他] NPPV を行う人工呼吸器および回路. 呼吸管理機器マスターブック (今中秀光), 2006; pp 34-40, メディカ出版.
- 3) 坂本篤裕: [その他] こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法, 2006; 真興交易医書出版部.
- 4) 坂本篤裕: [その他] 医療機器 (ME 機器) と安全管理. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 11-15, 真興交易医書出版部.
- 5) 金徹, 吉田晃 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] 急性期の血液浄化療法. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 16-45, 真興交易医書出版部.
- 6) 寺嶋克幸, 山口敏明 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] 補助循環と機器. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 46-73, 真興交易医書出版部.
- 7) 竹田晋浩, 野口裕幸 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] 人工呼吸器. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 74-92, 真興交易医書出版部.
- 8) 中西一浩, 青木郁香 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] 生体情報モニター. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 94-114, 真興交易医書出版部.
- 9) 中西一浩, 鈴木健一 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] ペースメーカー. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 115-147, 真興交易医書出版部.
- 10) 寺嶋克幸, 鈴木健一 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] 除細動器. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 148-171, 真興交易医書出版部.
- 11) 金徹, 原正高 1)(1) 付属病院 ME 部: [その他] 輸液ポンプ・シリンジポンプ. こんな時どうする ME 機器のトラブル対処法 (坂本篤裕編集), 2006; pp 172-194, 真興交易医書出版部.
- 12) 竹田晋浩: [その他] 周術期の人工呼吸管理の要点. 周術期の呼吸管理 (西野 卓), 2006; pp 79-93, 克誠堂出版.
- 13) 坂本篤裕: [その他] Q34-37. 水・電解質がわかる輸液ケア Q&A (飯野靖彦編集), 2006; pp 74-82, 中山書店.
- 14) 竹田晋浩: [その他] 急性期 NPPV の適応と限界, 心原性肺水腫に対する NPPV, ALI/ARDS に対する NPPV. 急性期 NPPV 実践マニュアル (竹田晋浩), 2006; pp 2-3, メディカルレビュー社.

- 15) 竹田晋浩: [その他] 急性期 NPPV の適応と限界, 心原性肺水腫に対する NPPV, ALI/ARDS に対する NPPV. 急性期 NPPV 実践マニュアル(竹田晋浩), 2006; pp 28-29, メディカルレビュー社.
- 16) 竹田晋浩: [その他] 急性期 NPPV の適応と限界, 心原性肺水腫に対する NPPV, ALI/ARDS に対する NPPV. 急性期 NPPV 実践マニュアル(竹田晋浩), 2006; pp 10-11, メディカルレビュー社.
- 17) 坂本篤裕: [その他] 胃管挿入. 麻酔手技上達のコツ(岩崎 寛, 野口隆之, 福田和彦編集), 2006; pp 36-41, 南江堂.
- 18) 坂本篤裕: [その他] 心血管作動薬. 麻酔科レビュー 2007(天羽敬祐監修), 2007; pp 18-23, 総合医学社.
- 19) 竹田晋浩: [その他] 麻酔科医と救急医療. 麻酔科学レビュー 2007(天羽啓介), 2007; pp 207-212, 総合医学社.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) 鈴木規仁, 河原裕泰, 岸川洋昭, 小林克也, 三井誠司, 竹森健, 坂本篤裕: Off-pump CABG における動脈圧波形による心拍出量連続モニターの使用経験. 日本臨床モニター学会第 17 回総会, 2006.4.
- 2) 鈴木規仁, 竹田晋浩 1), 赤田信二 1), 寺嶋克幸, 中西一浩, 本郷卓 1), 田中啓治 1), 井上哲夫 2), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室, 2) 千葉北総病院麻酔科): 非侵襲的陽圧換気 (NPPV) 施行時の鎮静: デクスメドミジンの効果. 日本呼吸療法医学会第 28 回学術総会, 2006.5.
- 3) 杖下隆哉, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: 人工赤血球による生体反応はどこまで許容できるか?. 第 21 回 日本 shock 学会, 2006.5.
- 4) 中里桂子, 佐藤千代, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: ASA physical status 3E 以上の緊急手術患者における予後予測因子の統計学的検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 5) 小林克也, 竹森健, 中里桂子, 吉田結富子, 三井誠司, 坂本篤裕: セボフルランはラットにおけるサーカディアンリズム遺伝子の発現に影響を及ぼす. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 6) 中西一浩, 竹田晋浩, 金徹, 寺嶋克幸, 北村晶, 坂本篤裕: 人工心肺下心臓手術の術後心筋マーカー流出に関する因子は何か?: 多変量解析による検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 7) 佐藤千代, 坂井敦 1), 鈴木秀典 1), 坂本篤裕 (1) 薬理学): 局所麻酔薬による硬膜外ブロックの有用性の検討 慢性絞扼性傷害モデルラットを用いて Efficacy of epidural block using local anesthetics in a rat model of neuropathin pain. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 8) 鈴木規仁, 坂本篤裕, 河原裕泰, 小林克也, 三井誠司: 心臓手術における動脈圧波形による心拍出量測定 (FloTrac センサー) の検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 9) 幸田修典, 竹田晋浩, 赤田信二, 幸田真理子, 坂本篤裕: 新生ラット脳幹脊髄標本においてカンナビノイドは呼吸抑制を来さずにピククリンにより誘発された痙攣を抑制する. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 10) 寺嶋克幸, 杖下隆哉, 坂本篤裕: ウサギ出血性モデルに対する人工酸素運搬体-HbV-の影響. 日本麻酔科学会第 53 回大会, 2006.6.
- 11) 赤田信二, 竹田晋浩, 坂本篤裕: ウサギ頸動脈小体における Vecuronium, propofol の影響. 日本麻酔科学会第 53 回大会, 2006.6.
- 12) 岸川洋昭, 坂本篤裕, 小林克也, 竹森健: デクスメドミジンのヒト好中球アポトーシスへの影響. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 13) 杖下隆哉, 山梨義高, 三井誠司, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: 人工赤血球の安全性に関する研究. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 14) 岡部格, 金徹, 山梨義高, 坂本篤裕: 腹腔鏡下前立腺全摘術と開腹前立腺全摘術の出血量の差に基づく麻酔管理方法の検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.

- 15) 金徹, 吉田結富子, 坂本篤裕: modified electroconvulsive therapy (mECT) の循環動態への影響. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 16) 岡部格, 金徹, 山梨義高, 坂本篤裕: 腹腔鏡下前立腺全摘術と開腹前立腺全摘術の出血量の差に基づく麻酔管理方法の検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 17) 中西一浩, 竹田晋浩 1), 金徹, 寺嶋克幸, 北村晶, 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 人工心肺下心臓手術の術後心筋マーカー流出に關与する因子は何か?: 多変量解析による検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 18) 竹田晋浩, 赤田信二, 本郷卓, 鈴木規仁, 中西一浩, 坂本篤裕: 術後呼吸不全に対する非侵襲的陽圧換気 (NPPV) の有効性. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 19) 守真輝, 鈴木規仁, 坂本篤裕: 緊急眼科手術において予期せぬ心停止を認めた症例の術前術後評価. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 20) 加藤信也 1), 益田律子 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 星状神経節への局所麻酔薬注入および直流通電療法が著効を示した帯状疱疹患者 1 症例. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 21) 輪嶋善一郎 1), 志賀俊哉 1), 今永和幸 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): ヒトにおいてランジオロールはセボフルランの MAC を低下させるか?. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 22) 斉藤剛 1), 輪嶋善一郎 1), 志賀俊哉 1), 今永和幸 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): ランジオロールの投与により vital capacity rapid inhalation induction による意識消失時間を短縮させる. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 23) 安藤岳史, 北村晶, 鈴木規仁, 山梨義高, 岡部格, 坂本篤裕: 腹腔鏡下手術時における BIS 値と術後嘔気との関連. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 24) 山梨義高, 北村晶, 安藤岳史, 三井誠司, 鈴木規仁, 坂本篤裕: TUR およびレゼクトスコープ手術における血漿浸透圧と血漿膠質浸透圧の変動について. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 25) 横塚基, 河原裕泰, 北村晶, 中西一浩, 坂本篤裕: 右後頭部痛により発症した悪性リンパ腫の 1 症例. 日本ペインクリニック学会第 40 回大会, 2006.7.
- 26) 岡部格, 河原裕泰, 坂本篤裕: 肢端紅痛症に対する交感神経ブロックの効果について. 日本ペインクリニック学会第 40 回大会, 2006.7.
- 27) 小倉明 1), 吉河達祐 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 穿刺部位の違いによる硬膜外カテーテル挿入時の Paresthesia の頻度について. 日本ペインクリニック学会第 40 回大会, 2006.7.
- 28) 加藤信也 1), 益田律子 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 星状神経節への直流通電および局所麻酔薬注入療法が奏功した帯状疱疹後神経痛患者 2 症例. 日本ペインクリニック学会第 40 回大会, 2006.7.
- 29) 輪嶋善一郎 1), 益田律子 1), 志賀俊哉 1), 今永和幸 1), 斉藤剛 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 持続硬膜外麻酔・ブロックに起因する硬膜外膿瘍の発生頻度. 日本ペインクリニック学会第 40 回大会, 2006.7.
- 30) 中里桂子, 竹田晋浩, 赤田信二, 本郷卓, 吉田結富子, 守真輝, 宮城泰雄 1), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 子宮内膜そう爬術に伴う子宮穿孔と同時に小腸潰瘍穿孔を起こし, 急性腹膜炎から敗血症に至った 1 症例. 第 15 回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 2006.8.
- 31) 佐藤千代, 河原裕泰, 坂本篤裕: 幻視痛に対するエルシトニンの効果. 第 5 回文京緩和医療研究会, 2006.8.
- 32) 中里桂子, 金徹, 寺嶋克幸, 小野寺英貴, 赤田信二, 本郷卓, 中西一浩, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 集中治療室滞在日数に影響する因子としてのデクスメトミジンの検討. 第 13 回日本静脈麻酔研究会, 2006.9.
- 33) 寺嶋克幸, 小野寺英貴, 竹田晋浩, 坂本篤裕: オフポンプ冠動脈再建術後のランジオロールとデクスメトミジンの効果. 第 13 回日本静脈麻酔研究会, 2006.9.
- 34) 船木孝則, 乾恵輔, 本間英恵, 春日裕介, 渡辺悠, 福井めぐみ, 米澤美令, 小野修一, 寺嶋克幸, 金徹, 岸川洋昭, 鈴木規仁, 杖下隆哉, 三井誠司, 幸田修典: 研修医のターゲットコントロールインフュージョンによる完全静脈麻酔法は麻酔の質を変えない. 第 13 回日本静脈麻酔研究会, 2006.9.

- 35) 岸川洋昭, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: デクスメドトミジンのヒト好中球アポトーシスへの影響. 第 13 回日本静脈麻酔研究会, 2006.9.
- 36) 守真輝, 竹田晋浩: 非侵襲的陽圧換気 (NPPV) 施工時の鎮静; デクスメドトミジンの効果. 第 13 回日本静脈麻酔研究会, 2006.9.
- 37) 中里桂子, 寺嶋克幸, 金徹, 中西一浩, 赤田信二, 本郷卓, 竹田晋浩, 坂本篤裕: F 回路内の 2 重構造が麻酔器側で破綻したことにより生じた高二酸化炭素血症の 1 例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 38) 中西一浩, 竹田晋浩, 金徹, 岸川洋昭, 幸田修典, 白川真, 坂本篤裕: Pringle's maneuver を用いる肝切除術における心拡張機能の変動: 組織ドップラー法を用いた心機能評価. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 39) 幸田修典, 幸田真理子, 佐藤千代, 藤谷仁, 杖下隆哉, 岸川洋昭, 鈴木規仁, 坂本篤裕: 肺腫瘍のラジオ波焼却術における硬膜外ブロックの有用性. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 40) 吉田結富子, 中里桂子, 守真輝, 赤田信二, 河原裕泰, 本郷卓, 竹田晋浩, 坂本篤裕: Dexmedetomidine を用いて良好な鎮静が得られた小児の開心術症例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 41) 寺嶋克幸, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 肺水腫を伴う帝王切開に対する NPPV と脊髄麻酔. 臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 42) 岸川洋昭, 坂本篤裕, 金徹, 寺嶋克幸, 幸田修典: 間質性肺炎合併呼吸器手術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 43) 杖下隆哉, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: 透析患者の off pump 冠動脈バイパス術の周術期管理. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 44) 中里桂子, 寺嶋克幸, 金徹, 中西一浩, 赤田信二 1), 本郷卓 1), 竹田晋浩 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): F 回路内の 2 重構造が麻酔器側で破綻したことにより生じた高二酸化炭素血症の 1 例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 45) 中西一浩, 竹田晋浩 1), 金徹, 岸川洋昭, 幸田修典, 白川真, 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): Pringle's maneuver を用いる肝切除術における心拡張機能の変動: 組織ドップラー法を用いた心機能評価. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 46) 川口宏志, 寺嶋克幸, 金徹, 坂本篤裕: 慢性関節リウマチ患者に対する気管挿管の 2 症例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 47) 岸川洋昭, 坂本篤裕, 金徹, 寺嶋克幸, 幸田修典: 間質性肺炎合併呼吸器外科手術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 48) 坪光?晃, 金徹, 西原富次郎, 安藤岳史, 杖下隆哉, 河原裕泰, 中西一浩, 坂本篤裕: セボフルランが有効であった喉頭痙攣の 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 49) 古市昌之, 杖下隆哉, 坪光?晃, 小野顕人, 坂本篤裕: 経食道心エコープローブ挿入後に生じた披裂軟骨脱臼の 1 例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 50) 寺嶋克幸, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 低酸素症を伴う帝王切開患者への非侵襲的陽圧呼吸法の応用. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 51) 安藤岳史, 岡部格, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: 静脈ライン確保時における 8% リドカインによる表面麻酔の有用性の検討. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 52) 小倉明 1), 吉河達祐 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 腰部硬膜外穿刺時における正中法と傍正中法の比較. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 53) 大江裕美子 1), 稲木敏一郎 1), 横山健至 1), 北村晶 1), 島田洋一 1), 坂本篤裕 (1) 武蔵小杉病院麻酔科): 電気メスの使用により消毒薬に引火, リネンが炎上し火傷を負わせてしまった 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 54) 幸田真理子 1), 古市昌之, 西川晃司 1), 幸田修典, 山田光輝 1), 坂本篤裕 (1) 多摩永山病院麻酔科): 腹部大動脈完全閉塞による Leriche 症候群を合併した胃全摘術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.

- 55) 佐藤花代子 1), 稲木敏一郎 1), 横山健至 1), 大江裕美子 1), 島田洋一 1), 坂本篤裕 (1) 武蔵小杉病院麻酔科): 広範囲ラジオ波焼灼が原因と思われた覚醒遅延の 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
- 56) 中里桂子, 竹田晋浩, 赤田信二, 本郷卓, 吉田結富子, 守真輝, 宮城泰雄 1), 中西一浩, 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 消化管穿孔に対して PMX-DHP が著効した 2 症例. 第 19 回日本外科感染症学会, 2006.11.
- 57) 山本剛 1), 佐藤直樹 1), 田中啓治 1), 青木聡 2), 小林義典 2), 高山守正 2), 高野照夫 2), 吉田竜介 3), 山本博保 3), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室, 2) 付属病院内科学第 1, 3) 付属病院救急医学): AED が作動しなかった院内心室細動の 2 例とそのメカニズム. 第 34 回日本救急医学会総会, 2006.11.
- 58) 寺嶋克幸, 杖下隆哉, 宮下正夫 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院外科学第 1): Hemoglobin-vesicle 溶液の出血性ショックに対する効果と安全性. 第 13 回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2006.12.
- 59) 中里桂子, 竹田晋浩 1), 吉田結富子, 守真輝, 赤田信二 1), 宮城泰雄 1), 本郷卓 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 陽・陰圧体外式人工呼吸器 (RTXR) を併用し改善した誤嚥性肺炎の 1 例. 第 34 回日本集中治療医学会学会術集会, 2007.3.
- 60) 吉田結富子, 中里桂子, 守真輝, 赤田信二 1), 宮城泰雄 1), 本郷卓 1), 竹田晋浩 1), 大井良之 2), 坂本篤裕, 田中啓治 1)(1) 付属病院集中治療室, 2) 日本大学歯学部麻酔科): 開胸術後の心房細動に及ぼす landiolol の効果. 第 34 回日本集中治療医学会学会術集会, 2007.3.
- 61) 赤田信二, 寺嶋克幸 1), 竹田晋浩 1), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 非侵襲的陽圧換気施行患者におけるデクスメトミジンの鎮静効果. 第 34 回日本集中治療医学会学会術集会, 2007.3.
- 62) 岸川洋昭, 小林克也, 竹森健, 幸田修典, 岡部格, 川口宏志, 坪光?晃, 坂本篤裕: デクスメトミジンはヒト好中球スーパーオキシド産生量をアポトーシスにより低下させる. 第 34 回日本集中治療医学会学会術集会, 2007.3.
- 63) 守真輝, 中里桂子, 吉田結富子, 宮城泰雄 1), 本郷卓 1), 金徹, 中西一浩, 竹田晋浩 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 左鎖骨下アプローチにて透析用カテーテル挿入時に鎖骨下動脈を貫通して大動脈弓部に誤挿入した 1 症例. 第 34 回日本集中治療医学会学会術集会, 2007.3.
- 64) 野口裕幸 1), 青木郁香 1), 山口敏明 1), 原正高 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院 ME 部): 新規輸液ポンプ導入に関する検討. 第 34 回日本集中治療医学会学会術集会, 2007.3.

(2) 特別講演:

- 1) 坂本篤裕: 短時間作用型 1 遮断薬の現状と新たな適応. 岐阜周術期循環管理研究会, 2006.1.
- 2) 坂本篤裕: 周術期と 遮断薬 術中から周術期管理へ. 第 17 回静岡県麻酔科医会総会, 2006.6.
- 3) 坂本篤裕: 周術期と 遮断薬 術中から周術期管理へ. 和歌山循環管理セミナー 2006, 2006.6.
- 4) 坂本篤裕: 周術期と 遮断薬 術中から周術期管理へ. 第 8 回神奈川臨床麻酔セミナー, 2006.6.
- 5) 坂本篤裕: 周術期管理における 1 遮断薬. 滋賀周術期フォーラム 2006, 2006.10.
- 6) 坂本篤裕: 周術期管理における 遮断薬の実践. 文京臨床麻酔学術講演会, 2006.11.
- 7) 坂本篤裕: 周術期管理における短時間作用型 1 遮断薬の役割. 信州麻酔懇話会, 2006.11.
- 8) 坂本篤裕: 周術期と 遮断薬 術中から周術期管理へ. 旭川全身管理研究会, 2006.12.
- 9) 坂本篤裕: 周術期管理における短時間作用型 1 遮断薬の役割. 石川県周術期管理研究会, 2007.2.

(3) 教育講演:

- 1) 中西一浩: 周術期における心収縮・拡張機能の変動: 組織ドップラー法を用いた心機能評価. 日本麻酔科学会東京・関東甲信越地方会第 46 回合同学会術集会, 2006.9.
- 2) 竹田晋浩: 周術期の NPPV. 第 6 回 NPPV 研究会, 2006.12.

(4) シンポジウム:

- 1) 竹田晋浩: ARDS の臨床 : ARDS 診断基準の問題点. 第 46 回日本呼吸器学会学術集会, 2006.6.
 - 2) 杖下隆哉, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: HbV による輸液蘇生 : 肺への影響. 第 13 回日本血液代謝物学会年次大会, 2006.8.
 - 3) 竹田晋浩: 周術期のモニタリング管理とリスクマネジメント ; 肺動脈カテーテルの挿入・留置に関する問題点と工夫. 日本麻酔科学会東京関東甲信越支部第 46 回合同学術集会, 2006.9.
 - 4) 竹田晋浩: ALI/ARDS に対する NPPV の有効性. 第 34 回日本集中治療医学会学術集会, 2007.3.
- (5) セミナー:
- 1) Sakamoto A: Perioperative use of ultra short acting b-blocker; Landiolol comes on the field. The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension(Fukuoka), 2006.10.
 - 2) 坂本篤裕: 周術期管理における 1 遮断薬 現況と未来. 第 11 回日本心臓血管麻酔学会, 2006.9.
 - 3) 金徹: 補助循環作動時の麻酔科医の役割 (臨床教育セミナー). 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006.10.
 - 4) 坂本篤裕: 周術期管理における短時間作用型 1 遮断薬の役割. 第 59 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2006.10.
 - 5) 白川真, 中西一浩, 竹森健, 小林克也, 幸田修典, 三井誠司, 杖下隆哉, 鈴木規仁, 河原裕泰, 寺嶋克幸, 金徹, 竹田晋浩, 坂本篤裕: off pump CABG に対して hANP は有効であるか?. 周術期心不全カンファランス, 2006.11.
 - 6) 坂本篤裕: 高齢者における 1 遮断薬の有用性. 第 19 回日本老年麻酔学会, 2007.2.
 - 7) 坂本篤裕: Short acting 1 blocker の新たな展開. 第 71 回日本循環器病学会総会・学術集会, 2007.3.

臨床医学

麻酔科学講座

[武蔵小杉病院麻酔科]

研究業績

論文

(1) 研究報告書:

- 1) Suzuki M, Haraguti S1), Sugimoto K2), Kikutani T, Shimada Y, Sakamoto A3)(1) 日本医科大学武蔵小杉病院 外科, 2) 東戸塚記念病院麻酔科, 3) 日本医科大学付属病院麻酔科): Low-dose Intravenous Ketamine Potentiates Epidural Analgesia after Thoracotomy. *Anesthesiology* 2006; 1(105):pp 111-pp 119.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Suzuki M, Yokoyama K, Sato K, Kitamura A, Shimada Y: Factors Associated with Acute Blood Pressure Drop upon Repositioning from the Lithotomy Position. *ASA(Chicago)*, 2006.10.
- 2) 鈴木万三, 佐藤花代子, 稲木敏一郎, 横山健至, 丸茂穂積, 島田洋一: 高齢者における砕石位からの体位復帰にともなう血圧変動に影響する因子の検討. 日本麻酔科学会第 53 回学術集会, 2006.6.
- 3) 島田洋一, 井梅和美 1), 井上雅則 1), 花出豊 1), 新竹孝征 1), 勝部康弘 1)(1) 武蔵小杉病院中央検査室): 当日直時の輸血業務の現状. 第 74 回日本医科大学医学会総会, 2006.9.
- 4) 稲木敏一郎, 大江裕美子, 佐藤花代子, 北村晶, 島田洋一: 術前に肺梗塞を繰り返し発症した, 先天性 ATIII 欠乏症患者の麻酔. 日本臨床麻酔学会, 2006.10.
- 5) 大江裕美子, 稲木敏一郎, 横山健至, 北村晶, 島田洋一, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 電気メスの使用により消毒薬に引火, リネンが炎上し火傷を負わせた 1 症例. 日本臨床麻酔学会, 2006.10.
- 6) 佐藤花代子, 稲木敏一郎, 横山健至, 大江裕美子, 島田洋一, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 広範囲ラジオ波焼灼が原因と思われた覚醒遅延の 1 症例. 日本臨床麻酔学会, 2006.10.
- 7) 村瀬熱紀, 稲木敏一郎, 大江裕美子, 横山健至, 北村晶, 島田洋一: Broncho-cath 接続部の機械的閉塞による換気不全を生じた分離肺換気症例. 日本臨床麻酔学会, 2006.10.
- 8) 杉本季久造 1), 望月功 1), 横尾香代子 2), 小原美代子 2), 島田洋一 (1) 東戸塚記念病院, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部中央手術室): 一般病院における並列麻酔について. 日本手術医学会, 2006.11.

(2) 特別講演:

- 1) 島田洋一: 無痛分娩. 第 74 回日本医科大学医学会総会, 2006.9.
- 2) 島田洋一: 産科麻酔と医療訴訟. 分娩と麻酔, 2006.12.

臨床医学

麻醉科学講座

[多摩永山病院麻醉科]

研究業績

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Kobayashi N, Yamamoto Y: Halothane reduce hypoxic ventilatory depression thorough TASK-1 K channel, and not Kv or BK channel. ASA annual meeting(Chicago, USA), 2006.10.
- 2) 今井洋史, 西川晃司, 飯野治, 山田光輝: 先天性多発性関節拘縮症(AMC)による側彎症を合併した妊婦の麻醉経験. 日本麻醉科学会第53回学術集会, 2006.6.
- 3) 今井洋史, 幸田真理子, 小林徳行, 西川晃司, 石原之法: 高炭酸ガス血症により脳波エントロピー値が低下したと考えられた1例. 日本麻醉科学会第53回学術集会, 2006.6.
- 4) 西川晃司, 山田光輝: 先天性筋緊張性ジストロフィー患者の麻醉経験. 日本麻醉科学会東京・関東甲信越支部第46回合同学術集会, 2006.9.
- 5) 幸田真理子, 古市昌之¹⁾, 西川晃司, 幸田修典¹⁾, 山田光輝, 坂本篤裕¹⁾(¹⁾ 麻醉科学): 腹部大動脈完全閉塞による Leriche 症候群を合併した胃全摘術の麻醉経験. 日本臨床麻醉学会第26回大会, 2006.10.

臨床医学

麻酔科学講座

[千葉北総病院麻酔科]

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Wajima Zen'ichiro, Shiga T, Imanaga K, Inoue T, Ogawa R1(1)Department of Anaesthesiology): Effect of prophylactic bronchodilator treatment with i.v. carperitide on airway resistance and lung compliance after tracheal intubation. Br J Anaesth 2006; 96(5):660-664.
- 2) Shiga T1), Wajima Z, Apfel CC2), Inoue T, Oe Y1)(1)Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, 2)Department of Anesthesia and Preoperative Care, University of California at San Francisco): Diagnostic accuracy of transesophageal echocardiography, helical computed tomography, and magnetic resonance imaging for suspected thoracic aortic dissection: systematic review and meta-analysis. Arch Intern Med 2006; 166(13):1350-1356.

(2) 症例報告:

- 1) 輪嶋善一郎, 益田律子, 志賀俊哉, 今永和幸 1), 井上哲夫, 坂本篤裕 2)(1) 昭和大学横浜市北部病院麻酔科, 2) 日本医科大学付属病院麻酔科): 頭部三点固定時に生じた連発する上室性期外収縮に対するエスモロールの効果. 日本臨床麻酔学会誌 2006; 26(2):203-205.
- 2) 斎藤剛, 輪嶋善一郎, 加藤信也, 設楽敏朗, 井上哲夫, 小川龍 1)(1) 付属病院麻酔科): 挿管困難が予想された前縦靭帯骨化症合併患者の麻酔管理. 麻酔 2006; 55(10):1257-1259.

(3) 綜説:

- 1) 輪嶋善一郎: 硬膜外麻酔, 脊髄くも膜下麻酔における感染症合併症と予防法, 発生後の治療法について. 臨床麻酔 2006; 30(3):559-561.
- 2) 益田律子: 硬膜外鎮痛 (がん性疼痛管理). ペインクリニック別冊春号 2006; 27(春):S168-S179.
- 3) 益田律子, 田沼久美子 1)(1) 解剖学第 2): 神経ブロックの最前線: 神経ブロックに役立つ新しい解剖学的知見. ペインクリニック 2006; 27(6):691-703.
- 4) 輪嶋善一郎: 遮断薬の臨床応用の将来的可能性. 日本臨床麻酔学会誌 2006; 26(4):398-403.
- 5) 輪嶋善一郎: 遮断薬の鎮静・鎮痛・麻酔補助作用. 臨床麻酔 2006; 30(10):1515-1520.
- 6) 益田律子: 麻酔科医とオピオイド (緩和医療・ペインクリニック領域におけるオピオイド). 日本臨床麻酔学会誌 2006; 26(11):646-653.
- 7) 益田律子: 中枢神経軸における疼痛治療のリスクマネジメント: 近年の話題. ペインクリニック 2006; 27(11):1419-1431.
- 8) 井上哲夫: 気道確保困難時に役立つ器具・方法: 徹底分析シリーズ: 気道確保のストラテジー. LiSA 2007; 14(1):40-41.
- 9) 井上哲夫: 外傷の麻酔; 胸部外傷 (特集: 救急医のための麻酔知識). 救急医学 2007; 31(1):89-92.
- 10) 益田律子: くも膜下鎮痛法. 痛みと臨床 2007; 17(1):83-87.

- 11) 井上哲夫: ショック係数 (shock index) , ショックスコア (shock score)(特集 : 指標と数値算出法 , 定義と使い方) . 救急医学 2007; 31(3):266-266.

著 書

- 1) 井上哲夫: [その他] 脊椎麻酔 Q22. これだけは知っておきたい手術室ナース Q&A (天羽敬祐 , 川村隆枝編集) , 2006; pp 48-49, 総合医学社.
- 2) 井上哲夫: [その他] 術中管理 Q74. これだけは知っておきたい手術室ナース (天羽敬祐 , 川村隆枝編集) , 2006; pp 160-161, 総合医学社.
- 3) 井上哲夫: [その他] 手術終了時と術後処置 Q82. これだけは知っておきたい手術室ナース Q&A (天羽敬祐 , 川村隆枝編集) , 2006; pp 179-180, 総合医学社.
- 4) 益田律子: [その他] 脊髄くも膜下麻酔で麻酔レベルを決定する因子について. これだけは知っておきたい手術室ナース Q & A (天羽敬祐 , 川村隆枝編集) , 2006; pp 50-51, 総合医学社.
- 5) 益田律子: [その他] 脊髄くも膜下麻酔中の主な合併症とその処置について. これだけは知っておきたい手術室ナース Q & A (天羽敬祐 , 川村隆枝編集) , 2006; pp 60-61, 総合医学社.
- 6) 井上哲夫: [その他] 危機管理・麻酔の安全 : 気道管理のストラテジー. JSA リフレッシャーコース 2002 2004 (社団法人日本麻酔科学会教育委員会・安全委員会編) , 2006; pp 66-73, メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- 7) 田沼久美子 1), 益田律子, 三枝英人 2)(1) 解剖学第 2, 2) 付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科: [その他] からだの事典 (田沼久美子, 益田律子, 三枝英人監修) . からだの事典 (田沼久美子, 益田律子, 三枝英人監修) , 2006; pp 92-185, 成美堂出版.
- 8) 井上哲夫: [その他] 気道確保に欠かせないスキル. 手術に欠かせない臨床麻酔のスキル 各科手術の麻酔に役立つ最新のワザと知恵 (古河義久編集) , 2007; pp 25-32, 真興交易医書出版部.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Masuda R, Tanuma K1), Tanuma Y2), Inoue T(1)Department of 2nd Anatomy, Nippon Medical School, 2)Department of Anatomy, Teikyo University): Meningeal Structures of Cervicothoracic Subarachnoid Space. XXV Annual European Society of Regional Anaesthesia Congress(Monte Carlo), 2006.9.
- 2) Wajima Zen'ichiro, Shiga T1), Imanaga K2), Inoue T, Sakamoto A3)(1)Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, 2)Department of Anesthesia, Showa University Northern Yokohama Hospital, 3)Department of Anesthesiology, Nippon Medical School): Intravenous Landiolol, a Novel - Adrenergic Blocker, Reduces MAC of Sevoflurane in Human Adults. American Society of Anesthesiologists 2006 Annual Meeting(Chicago), 2006.10.
- 3) Imanaga K1), Wajima Zen'ichiro, Shiga T2), Inoue T, Sakamoto A3)(1)Department of Anesthesia, Showa University Northern Yokohama Hospital, 2)Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, 3)Department of Anesthesiology, Nippon Medical School): Landiolol Shortens the Time to Loss of Consciousness by Vital Capacity Rapid Inhalation Induction. American Society of Anesthesiologists 2006 Annual Meeting(Chicago), 2006.10.
- 4) Shiga T1), Wajima Zen'ichiro, Apfel CC2), Inoue T, Ohe Y1)(1)Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, 2)Department of Anesthesia and Preoperative Care, University of California at San Francisco): Diagnostic Accuracy of TEE, Helical CT and MRI in Suspected Thoracic Aortic Dissection: Meta-Analysis. American Society of Anesthesiologists 2006 Annual Meeting(Chicago), 2006.10.

- 5) Ogura A, Yoshikawa T, Inoue T, Sakamoto A1)(1)Dept. of Anesthesiology, Nippon Medical School): Incidence of Transient Paresthesia During Epidural Catheter Placement. American Society of Anesthesiologists 2006 Annual Meeting(Chicago), 2006.10.
 - 6) Ogura A, Saito T, Yoshikawa T1), Inoue T, Sakamoto A2)(1)Dept. of Anesthesiology, National Tochigi Hospital, 2)Dept. of Anesthesiology, Nippon Medical School): Clinical Comparison between Midline and Paramedian Approaches for Epidural Catheter Placement. NYSSA 60th PostGraduate Assembly(New York), 2006.12.
 - 7) 後藤眞弓, 朽方規喜 1)(1) 千葉北総病院救命救急センター): 光学式喉頭鏡 TruviewEVO2 の使用経験. 第 34 回日本救急医学会総会・学術集会, 2006.5.
 - 8) 加藤信也, 益田律子, 井上哲夫, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 星状神経節への局所麻酔薬注入および直流通電療法が著効した帯状疱疹患者 1 症例. 第 53 回日本麻酔科学会学術集会, 2006.6.
 - 9) 益田律子, 井上哲夫, 加藤信也, 後藤眞弓: 帝王切開術におけるフェンタニル添加が高比重ピバカイン脊髄くも膜下麻酔の無痛域・心拍数・呼吸に及ぼす影響 :第 2 報. 第 53 回日本麻酔科学会学術集会, 2006.6.
 - 10) 後藤眞弓, 井上哲夫: 甲状腺疾患患者の喉頭展開に対する頸部レントゲンからのアプローチ. 第 53 回日本麻酔科学会学術集会, 2006.6.
 - 11) 小倉明, 吉河達祐 1)(1) 国立病院機構栃木病院麻酔科): 挿入時に合併症を起こさない理想的な硬膜外カテーテルとは?. 第 53 回日本麻酔科学会学術集会, 2006.6.
 - 12) 益田律子, 加藤信也, 輪嶋善一郎, 井上哲夫, 瀬谷知子 1), 山田岳史 1), 田中宣威 1)(1) 千葉北総病院外科): 遠隔部位の脊椎転移痛に脊髄くも膜下鎮痛法が奏功した 2 症例. 第 40 回日本ペインクリニック学会大会, 2006.7.
 - 13) 加藤信也, 益田律子, 井上哲夫, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 星状神経節への直流通電および局所麻酔薬注入療法が奏功した帯状疱疹後神経痛患者 2 症例. 第 40 回日本ペインクリニック学会大会, 2006.7.
 - 14) 小倉明, 井上哲夫, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 穿刺部位の違いによる硬膜外カテーテル挿入時の paresthesia の頻度について. 第 40 回日本ペインクリニック学会大会, 2006.7.
 - 15) 小倉明, 吉河達祐 1), 井上哲夫, 坂本篤裕 2)(1) 国立病院機構栃木病院麻酔科, 2) 日本医科大学付属病院麻酔科): 腰部硬膜外穿刺時における正中法と旁正中法の比較 (第 3 報). 第 26 回臨床麻酔学会, 2006.10.
- (2) 特別講演:
- 1) 加藤信也: 疼痛機序判別法としてのドラッグチャレンジテスト. 日本良導絡自律神経学会, 2006.9.
- (3) 教育講演:
- 1) 井上哲夫: 手術の安全と麻酔について. 第 28 回日本麻酔・薬理学会市民公開講座, 2006.6.
 - 2) 益田律子: 安全な神経ブロックに必要なエビデンス. 第 40 回日本ペインクリニック学会大会, 2006.7.
 - 3) 益田律子: 硬膜外腔, くも膜下腔, 脊髄の解剖. 平成 18 年度東京麻酔専門医会リフレッシュコース, 2006.7.
- (4) シンポジウム:
- 1) 輪嶋善一郎: 安全な硬膜外穿刺法 (安全な硬膜外麻酔). 第 12 回硬膜外麻酔研究会, 2006.2.
 - 2) 益田律子: オピオイドの臨床: 最近の話題「術後鎮痛とオピオイド」. 第 27 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム, 2006.9.
 - 3) 益田律子: 高齢者の麻酔に欠かせないスキル「術後鎮痛」. 第 19 回日本老年麻酔学会, 2007.2.
- (5) パネルディスカッション:
- 1) 輪嶋善一郎, 志賀俊哉 1), 今永和幸 2), 井上哲夫, 坂本篤裕 3)(1) 東邦大学大橋医療センター麻酔科, 2) 昭和大学横浜市北部病院麻酔科, 3) 日本医科大学付属病院麻酔科): ヒトにおいてランジオロールはセボフルランの MAC を低下させるか?. 第 53 回日本麻酔科学会学術集会, 2006.6.

- 2) 齋藤剛, 輪嶋善一郎, 志賀俊哉 1), 今永和幸 2), 井上哲夫, 坂本篤裕 3)(1) 東邦大学大橋医療センター麻酔科, 2) 昭和大学横浜市北部病院麻酔科, 3) 日本医科大学付属病院麻酔科): ランジオロールの投与により vital capacity rapid inhalation induction による意識消失時間を短縮させる. 第 53 回日本麻酔科学会学術集会, 2006.6.
- 3) 輪嶋善一郎, 益田律子, 志賀俊哉 1), 今永和幸 2), 齋藤剛, 井上哲夫, 坂本篤裕 3)(1) 東邦大学大橋医療センター麻酔科, 2) 昭和大学横浜市北部病院麻酔科, 3) 日本医科大学付属病院麻酔科): 持続硬膜外麻酔・ブロックに起因する硬膜外膿瘍の発生頻度 (徹底討論). 第 40 回日本ペインクリニック学会大会, 2006.7.